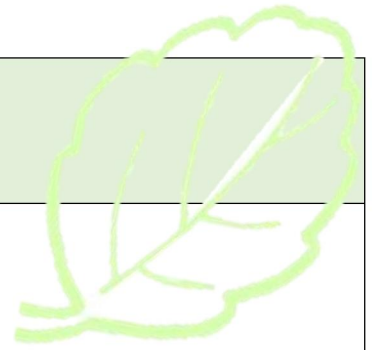


大野原小学校



1. 団体名 大野原小学校 緑の少年団
2. 所在地 観音寺市大野原町大野原 1 9 0 5
3. 団員数 全校児童（4 9 6 名）
4. 活動内容

大野原小学校は、徳島・愛媛の県境の山々から瀬戸内海までを含む広大な校区である。校区内にある五郷地区には、五郷小学校時代に杉やひのきを植林した学校林がある。自分たちのふるさとのよさを再発見する機会として、この学校林を活用した森林環境学習を始めて、今年で 15 年目である。令和 6 年度は、全校児童 496 名（内 5 年生 77 名）で活動している。当初は、6 年生が最高学年としてこの活動に参加していたが、近年では、社会科で林業の学習をする 5 年生に移行して継続している。

大野原小学校区育成会や地元ボランティアの協力を得て、日頃は体験できない貴重な活動を続けている。主な内容としては、高さ 20m 近くある木の間伐体験（切り目を入れた木を、ロープで引き倒す）をしたり、チェーンソーを使った作業を見学したりしている。また、太く立派な木に、グループ毎の記念プレートを吊り下げるなどして、先輩から受け継いだ森林保全への思いを後輩へつなぐ活動も行っている。そして、図画工作の時間には輪切りにした木を利用した作品づくりをし、それを校区内にある「ふるさと学芸館」に展示することで、学習の成果を地域の方などにも紹介している。



【学校林の歴史や木の種類等の学習】



【道具を使っでの体験】



【ロープを引っ張り、
間伐作業に挑戦！】



【記念プレートの吊り下げ】



【ひのきの輪切り体験】

5. 学校からの一言コメント

学校林の間伐活動を通して、森林の果たす役割等について学び、森林を大切にしようとする思いを強くしています。また、輪切りにしたひのきを再利用し、各自のアイデアを取り入れた児童の作品を「ふるさと学芸館」に展示し、地域のすばらしさを発信しています。